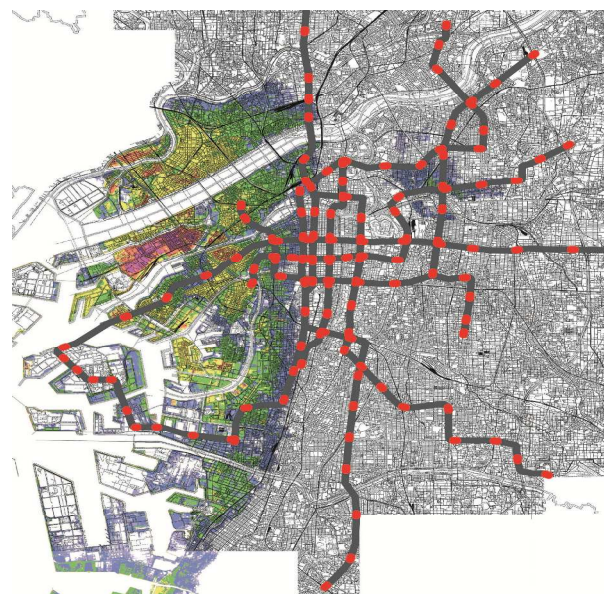
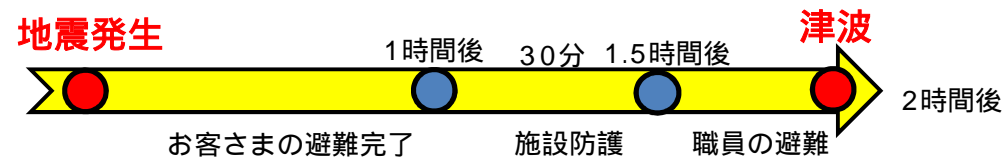


# 危機管理 災害に備える

## 津波浸水対策について

2013年8月に大阪府から南海トラフ巨大地震に伴う津波の浸水範囲等が公表され、大阪市内沿岸部には3m程度の津波が2時間以内に到達すると想定されています。

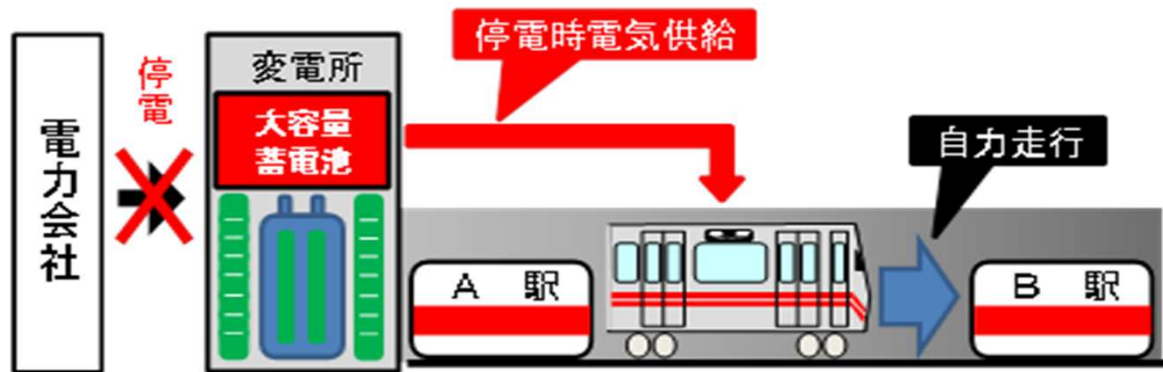
そのため、交通局では、津波到達までの2時間のうち、お客さまの避難（1時間以内）、施設防護（30分以内）、職員避難（30分以内）を完了させることを基本的な考え方とし、以下の取組みを2014年度から5カ年で行っています。



津波浸水想定図

### 1. お客さまの避難を迅速かつ確実にするための取組み

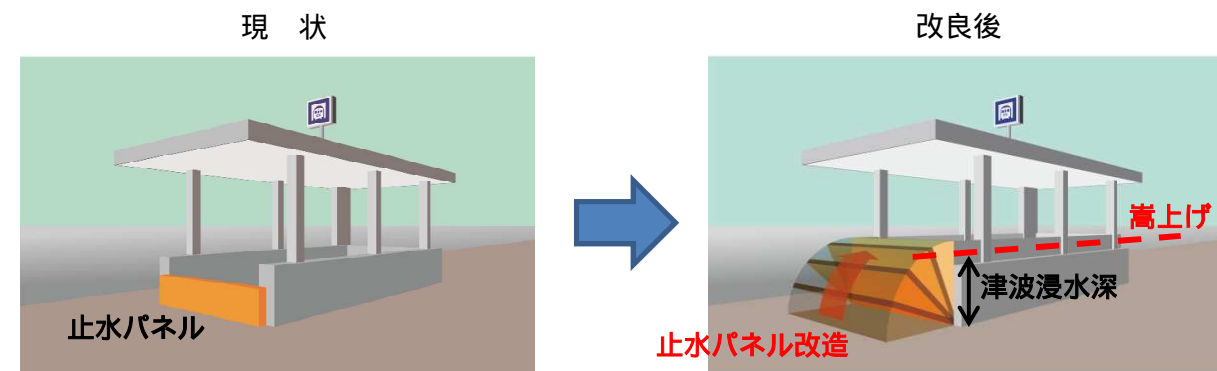
地震発生時に電力会社からの電気供給が途絶えても、駅間に在線する列車が立ち往生することなく、次駅まで進むことができるよう、津波浸水範囲の路線の中で必要な区間に地上型大容量蓄電池を設置します。



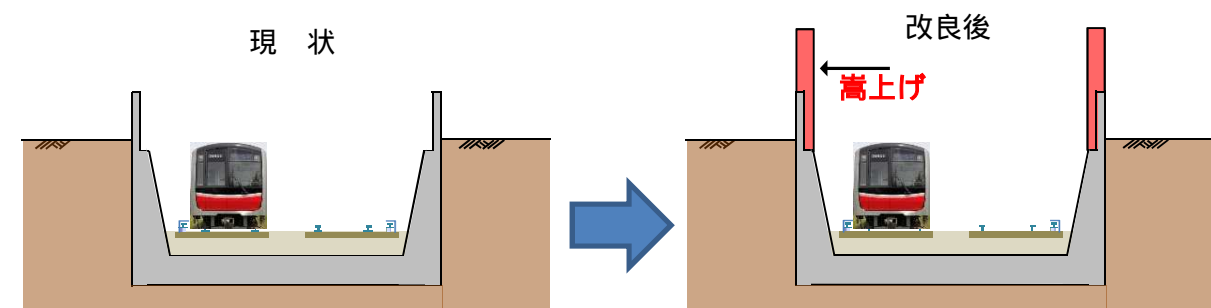
大容量蓄電池使用時の電車走行イメージ

### 2. 津波から地下鉄施設を防護する取組み

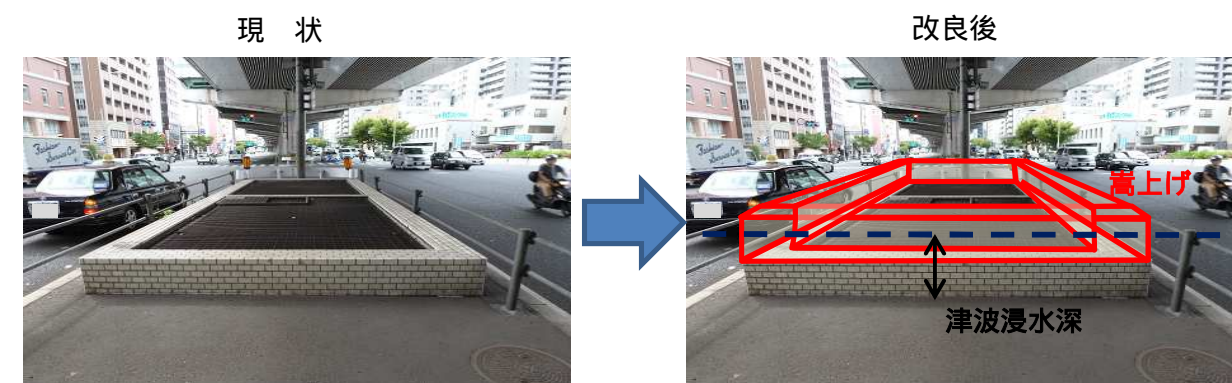
従来より駅出入口については、高潮対策としての施設整備は整っていますが、新たに公表された津波浸水想定に基づき、津波浸水範囲に位置する駅出入口、変電所や換気口等のうち、津波から施設を守ることができない施設に対して、新たに津波浸水対策設備を設置します。



駅出入口 対策イメージ図



U型隧道 対策イメージ図



換気口 対策イメージ図